

リスキリングに関する東海4県企業の意識調査（2024年）

# リスキリングに取り組んでいる企業は 7.8%にとどまる

## ～ 人材や時間などリソース不足が課題に ～

人手不足が深刻化するなか、「人への投資」による生産性向上は、企業経営にとって看過できないテーマとなっている。賃上げ機運が高まるなか、人材の確保・定着に欠かせない賃上げ原資を確保するためには、1人当たりの労働生産性を高めることが求められている。

リスキリングとは「新しい職業に就くために、あるいは今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること」であり、世界経済フォーラムにおいては2018年から3年連続でリスキリングセッションが開催された。日本では「骨太の方針」に盛り込まれ、2022年に岸田前首相がリスキリング支援として5年間で1兆円を投じると表明したことを皮切りに、政府も助成金などあらゆる支援策を積極的に講じている。石破首相の所信表明演説でもその重要性が触れられるなど、近年はより一層注目度が高まっている。

そこで、帝国データバンク名古屋支店ではリスキリングに対する東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）企業の取り組み状況やその内容、課題について調査を実施した。



オンラインを活用したリスキリングが普及し始めている  
(画像=イメージ)

### 調査結果（要旨）

1. リスキリングに「取り組んでいる」東海4県企業は7.8%（全国は8.9%）、今後「取り組みたいと思う」企業は15.9%（同17.2%）となり、リスキリングに「積極的」な意欲を示した企業は23.7%（同26.1%）。
2. 「取り組んでいる」企業の業種別では「医療・福祉・保健衛生」（30.0%）が最多。規模別では大企業（12.1%）が高く、中小・小規模企業とは明確に濃淡が表れた
3. リスキリングの取り組み内容は、「従業員のスキルの把握、可視化」が51.6%で最も高く、「eラーニング、オンライン学習サービスなどの活用」も43.9%となり高水準で続いた
4. リスキリングに取り組む課題は、時間や人材、費用などリソース不足が浮き彫りに。一方、リスキリングに取り組んでいる企業においては「従業員のモチベーション維持が難しい」（40.4%）がトップ

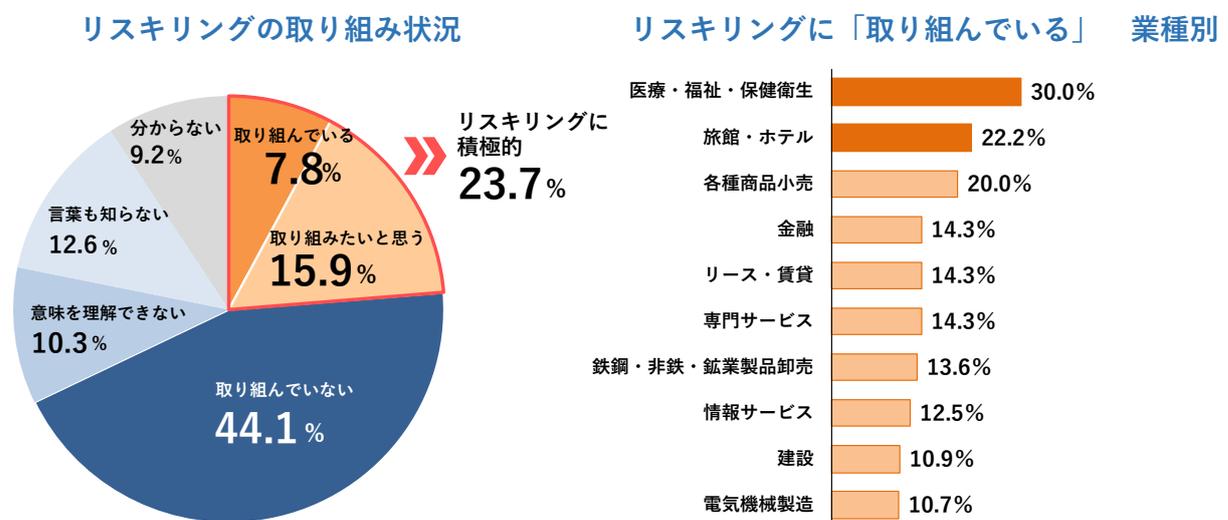
■調査期間は2024年10月18日～10月31日。調査対象は東海4県の2991社で、有効回答企業数は1201社（回答率40.2%）。全国は2万7008社で、有効回答企業数は1万1133社（回答率41.2%）

## 1. リスキリングに取り組んでいる企業は7.8%、全国を1.1ポイント下回る

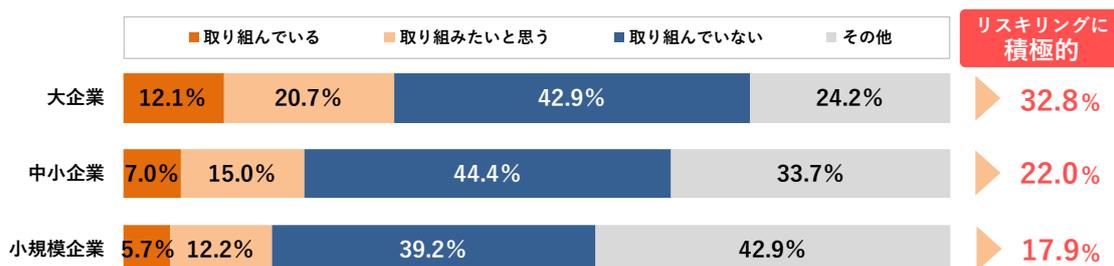
リスキリングに関する取り組み状況について尋ねたところ、「取り組んでいる」と回答した東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の企業は7.8%にとどまり、全国（8.9%）を1.1ポイント下回った。また、今後に意欲的な「取り組みたいと思う」は15.9%（全国は17.2%）となり、合計した「リスキリングに積極的」である割合は23.7%（同26.1%）となった。県別では、愛知24.9%、岐阜17.8%、三重25.4%、静岡23.8%だった。

一方、「取り組んでいない」は44.1%（同46.1%）にのぼり、半数近くが消極的である現状が浮き彫りとなった。加えて「意味を理解できない」10.3%（同9.5%）、「言葉も知らない」12.6%（同10.1%）がそれぞれ1割を超えており、現時点でリスキリングへの取り組みは十分とはいえないだろう。リスキリングに「取り組んでいる」企業を業種別でみると、「医療・福祉・保健衛生」が30.0%で唯一の3割台だった。「旅館・ホテル」（22.2%）、「各種商品小売」（20.0%）も2割となった。

また、リスキリングの取り組み状況を規模別でみると濃淡が表れた。「取り組んでいる」企業が大企業では12.1%で最も高く、中小企業では7.0%、小規模企業では5.7%にとどまった。今後「取り組みたいと思う」と感じる割合においても、大企業の方が割合は高かった。



## リスキリングの取り組み状況 規模別

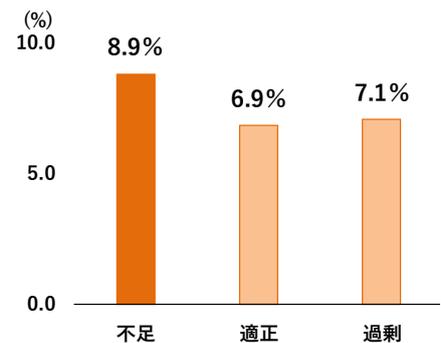


[注] 「その他」は、「意味を理解できない」「言葉も知らない」「分からない」の合計。小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

## 2. 人手不足を抱える企業ほどリスキリングに取り組む傾向、一方で人手不足が原因で取り組めないとの声も

リスキリングは労働生産性を高める効果が期待できることから、人手不足を解消させる一手となり得る。そこで、当調査で同時に尋ねている従業員の過不足感別に取り組む状況を見ると、人手不足（従業員が「不足」と回答）を感じている企業では、リスキリングに取り組んでいる割合は8.9%だった。従業員が「適正」「過剰」と感じている企業より高い結果となったが、大きな差はみられなかった。

リスキリングに「取り組んでいる」  
(人手不足状況別)

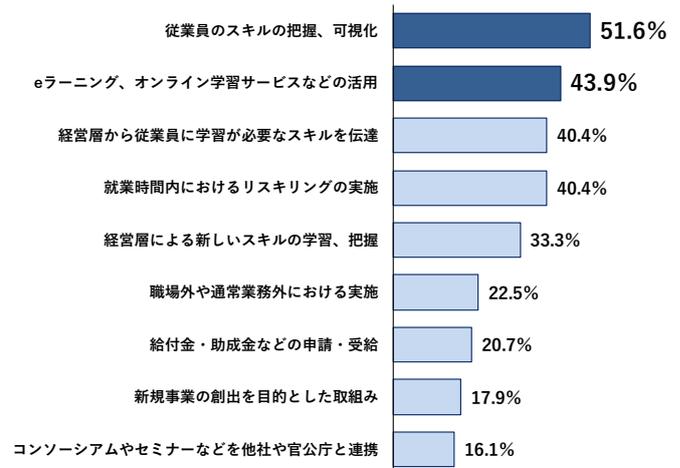


## 3. リスキリングの取り組み内容は、従業員のスキルの把握、可視化が最多

リスキリングに「積極的」(取り組んでいる/取り組みたいと思う)な企業に対して、その内容を尋ねたところ、新たな人材の発掘につながる「従業員のスキルの把握、可視化」が51.6%で最も高かった。

次いで「eラーニング、オンライン学習サービスなどの活用」(43.9%)が上位となり、オンラインツールの活用は半数近くにのぼった。他方、政府が積極的に講じている「給付金・助成金などの申請・受給」は20.7%と低位だった。

リスキリングの取り組み内容 (複数回答)



[注] 母数は、リスキリングに「積極的」と回答した285社

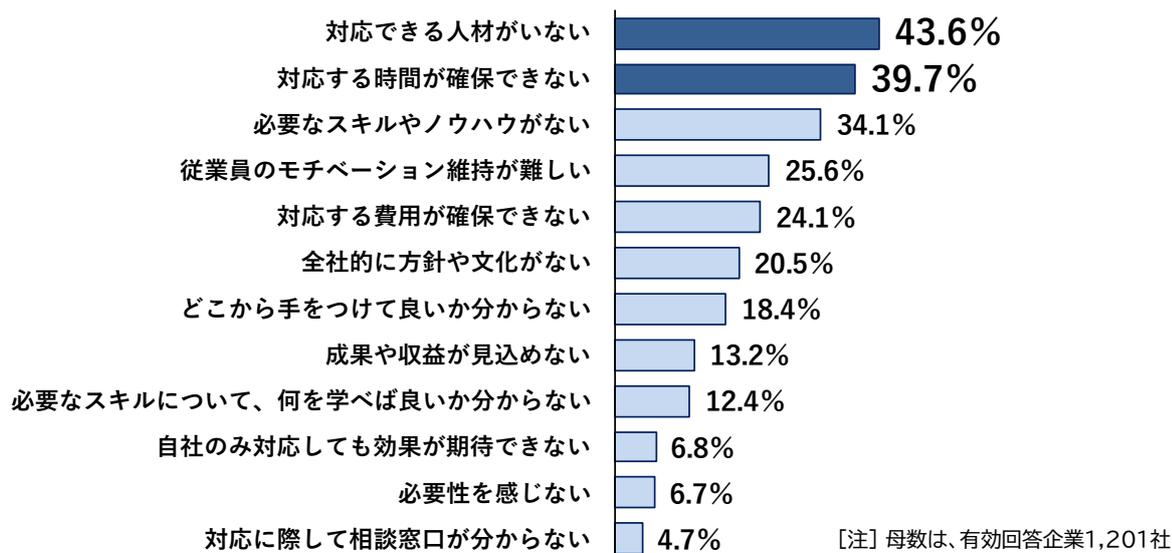
## 4. リスキリングに対する課題は、人材・時間の確保が上位に

リスキリングに取り組む上での課題について尋ねたところ、「対応できる人材がない」(43.6%)「対応する時間が確保できない」(39.7%)が特に高かった。

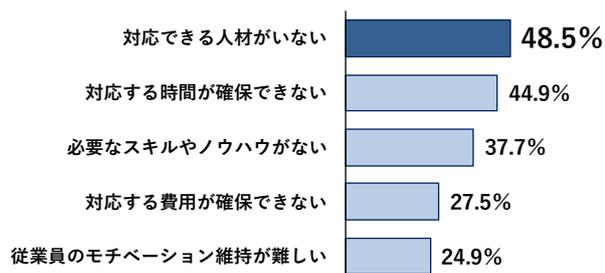
また、「取り組んでいない」企業と「取り組んでいる」企業それぞれにおける課題を分析すると、「取り組んでいない」企業においては時間・人材・ノウハウ・費用などのリソース不足が大きな課題となっていた。他方、「取り組んでいる」企業においては従業員のモチベーション維持に課題がある企業が多く見られた。企業からは、「実際に何回かリスキリングをやったが、身につかない社員がいる。ある程度のところで見切りを付け、現在保有スキルだけで進むべきか模索中」(ソフト開発)、

「外部の研修やセミナーを利用しているが、適したものがない。最新の知識や個別の情報よりも、基礎力の底上げをした結果として、応用力を伸ばしたい。IT、会計、法律、文章作成、プレゼンについて、どの従業員も一定のレベルになってほしい」(不動産管理)などの声があった。

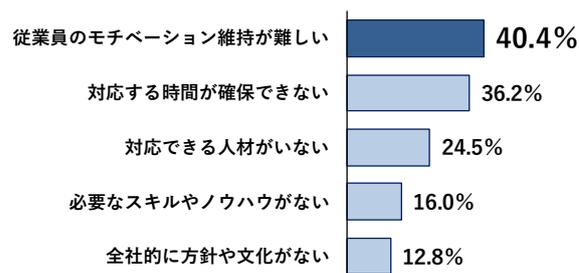
### リスキングに取り組む際の課題 (複数回答)



### <リスキングに取り組んでいない>



### <リスキングに取り組んでいる>



#### 【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店情報部 担当:大隅、稲熊  
TEL 052-561-4846 FAX 052-561-5746

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。